

広島県大学図書館協議会
平成 25 年度第1回研修会

ビブリオバトルを大学図書館が 推進する意義

宮城教育大学附属図書館
吉植 庄栄

内容

0. はじめに
1. ビブリオバトルとは何か
2. いかにもビブリオバトルを行うか
3. ビブリオバトルをやってみました
4. ビブリオバトルの効能
5. 大学図書館が推進する意義
6. おわりに:結論

ねらい

- ビブリオバトルとは何か
- どんな効果があるか
- 大学図書館との関係

を知って貰う。

0. はじめに

私の紹介

吉植 庄栄(よしうえ しょうえい)

- 東京都出身で大学から仙台です。
- 専攻は教育哲学です。
- 宮城教育大学附属図書館で働いています。
- 担当は何でも屋です(汗)。
- ビブリオバトルは最初興味がありませんでした(大汗)。

長止



元々興味があるのは……



この人の思想

S.R.ランガナタン

(Shiyali Ramamrita Ranganathan, சியலி ராமாமிருத ரங்கநாதன், 1892-1972)



インドの図書館学者

代表的著作:

『図書館学の五法則』

“The Five Laws of Library Science”など

多数

図書館とは何か ？

1. ビブリオバトル

とは何か

そのはなしを
するまえに

体験

ビブリオバトル
を見たことがある

ビブリオバトル
を開いたことがある

ビブリオバトル
のバトラーに
なったことがある

チャンプ本に
輝いたことがある

<ビブリオバトルとは？>

【ビブリオバトル】

本を知り人を知る
書評ゲーム

<ビブリオバトルとは？>

【ビブリオバトル】

本を紹介しあうだけでは
なく、紹介する人となりを
知るコミュニケーション
ゲーム

<(1)ビブリオバトル ルール>

【公式ルール】

- ・発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ・順番に一人5分間で本を紹介する。
- ・それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- ・全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

チャンプ本

= ×

一番うまい人

チャンプ本

=

一番読みたくなった
「本」

<ビブリオバトルとは？>

【ビブリオバトル】

ゼミや友達同士などの小規模のものから、大学規模で開催するイベント的なものまで 自由

ちなみに全国大会があります。
(ビブリオバトル首都決戦2012)



<ビブリオバトル首都決戦>

【ビブリオバトル】

- ・予選会（最低3回）
- ・地区決戦（最低3人以上）
- ・全国大会準決勝
- ・全国大会決戦

<ビブリオバトル首都決戦>

広島 山口



<p>会場の地区決戦予選会情報・地区決戦レポート></p> <p>広島・山口ブロック</p> <p>広島・山口ブロック地区決戦情報のお知らせ。 広島・山口ブロックにて開催された予選会の結果は、こちらの地区決戦にて参加いたします。</p>	
主催団体	広島県立図書館
連絡先	tsksumaj@pref.hiroshima.lg.jp (平日 9時～18時頃まで)
地区決戦開催日	11月27日(日)
地区決戦開催場所	広島県立総合文化センター
予選会情報	主催：広島県立大学教授教職協議会 会場：10月中旬 場所：広島県立大学図書館 日時：10月中旬予定 場所：広島県立大学図書館 日時：10月17日(木)予定 場所：広島市立大学の図書館、その他 日時：10月17日(木)予定 場所：広島県立大学図書館、MUSEUMエニジゴロコビエ 日時：10月中旬予定 場所：広島県立大学図書館
予選会開催地	主催：広島県立大学 会場：10月中旬予定 場所：広島県立大学

<ビブリオバトル首都決戦>

徳島 香川



各地の地区決戦・予選会情報 > [地区決戦で詳しく](#)

徳島・香川ブロック

徳島・香川ブロック地区決戦情報お知らせします。
徳島・香川ブロックにて開催された予選会の勝者は、こちらの地区決戦にご参加頂けます。

主催団体	徳島・香川ブロック読書会
連絡先	bibliobattle.tokushima@gmail.com ([#]は @に変更換えて下さい)
地区決戦開催日	10月26日(土)
地区決戦開催場所	徳島市立図書館
予選会情報	<ul style="list-style-type: none"> -主催・徳島・香川ブロック読書会 -日時:10月20日(土)14:00~15:00 -場所:北予選会場 香川会館 -参加申し込み締め切り:10月21日(土) 17:00 -連絡先:bibliobattle.tokushima@gmail.com ([#]は @に変更換えて下さい)
予選会開催締切日	10月5日(土)

ホーム

お知らせ

開催終了

開催要項

募集決戦レギュレーション

各地の地区決戦・予選会情報

地区決戦ブロック

地区決戦出場者 交通費について

予選会 開催日程募集

開催要項

応募方法

地区決戦 主催団体募集

開催要項

応募方法

地区決戦ブロック

ビブリオバトル公式ルール

個人情報の取扱いについて

お問い合わせ

開催者のための情報

持ち物について

サイトマップ

お問い合わせ先

0504020000

ビブリオバトル事務局2012

ビブリオバトル事務局2011

<ビブリオバトル首都決戦>

宮城 福島



各地の地区決戦情報 > [全国の地区決戦で詳しく](#)

宮城・福島ブロック

宮城・福島ブロック地区決戦情報お知らせします。
宮城・福島ブロックにて開催された予選会の勝者は、こちらの地区決戦にご参加頂けます。

主催団体	みやぎの図書館員連合(MML) 福島大学学生図書館員連合
連絡先	bibbat_miyafuku2012@googlegroups.com ([#]は @に変更換えて下さい) (担当: 倉田 佳穂)
地区決戦開催日	2012年10月13日(土) 14時半 地区決戦会場はこちら
地区決戦開催場所	東北学院大学 中央図書館 ※ 2F201
予選会情報	<ul style="list-style-type: none"> -福島地区予選会 →終了 10月3日(水) 14時30分~16時30分 福島大学附属図書館 ラウンジで開催 申し込み:10月1日 -宮城地区予選会 →終了 10月4日(木) 13時~2時 東北学院大学 中央図書館 申し込み:10月2日
予選会開催締切日	

ホーム

募集要項

開催終了

開催要項

募集決戦レギュレーション

各地の地区決戦・予選会情報

地区決戦ブロック

地区決戦出場者 交通費について

予選会 開催日程募集

開催要項

応募方法

地区決戦 主催団体募集

開催要項

応募方法

地区決戦ブロック

ビブリオバトル公式ルール

個人情報の取扱いについて

お問い合わせ

開催者のための情報

持ち物について

サイトマップ

お問い合わせ先

0504020000

ビブリオバトル事務局2012

ビブリオバトル事務局2011

<(1)ビブリオバトル ルール>

【首都決戦レギュレーション】

1. 予選会、地区決戦、本戦すべてのビブリオバトル開始前に、司会者がビブリオバトル公式ルールおよび首都決戦レギュレーション(2以下)を読み上げ、ビブリオバトルの趣旨を参加者に周知すること。
2. 本やエピソードを紹介するための小道具の使用は認める。
3. レジュメの配布は禁止とする。
4. 読み上げレジュメの持ち込みは禁止とする。ただし、本へのメモ書きや付箋の添付などは認める。
5. パワーポイントやキーノートなどのプレゼンテーションツールの使用は禁止する。
6. 発表者は必ず5分を使い切る。
7. 発表後のディスカッションでは、発表内容の批判をするようなことはせず、発表内容で分からなかった点の追加説明や、「どの本を一番読みたくなかったか?」の判断をするための材料について聞く。
8. 投票の基準は、どの本が読みたくなかったかであり、知り合いや身内という理由で投票を行わないこと。
9. 司会者は10の場合を除き、投票には参加しない。
10. チャンプ本が複数となった場合は、決選投票を行う。その際、司会者1名の票を1/2票として加える。
11. 同一人物が異なる予選会に複数回参加することは認める。ただし、すでに他の予選会でチャンプ本を獲得した者はのぞく。

昨年地区ブロック 主催

MULU

MULU
みちのく
図書館員連合

<MULU>



じむきよく日記

MULUのブログのまたまた...

10/03/00 (Sun)

MULUとは？ 21:25

MULU(Michinoku Librarian Union)とは、東北6県の図書館員を中心とした、顔が見えるコミュニティの活性化を図るためのコミュニティです。

2011年7月に旧名(Michinoku University Librarian Union)から現在の名称に変更されました。

MULUの主な活動は、MLUによる情報交換と、顔を合わせることが出来る各種イベントの開催です。

月1回は「茶話会」とよばれる、定例会のようなものを開催しています。内容は、勉強会、ミニ講座、図書館見学、フリースタイルなど、さまざまです。場にはお茶、和菓子や果物など、四時頃までのあちのくも取り入れるイベントも開催されます。

あちのくの検索のよびに各地に隠れているメンバーを引っ張り出すべく、

【9月の第40回茶話会】書き物体験ばせ！書展にいっしょに

【6月の第39回定例茶話会】「なんだかうれしいってスリとしまかん」

【5月の第38回定例茶話会】「MULUのこれまで振り返って」

Happy birthday MULU!!!

4月茶話会「お花見お祝い会」(第38回茶話会)開催♪

※詳しくは <http://mulu.g.hatena.ne.jp/>

<MULU>

コンセプト:

- ・顔の見えるコミュニティ
- ・学びと遊びをバランスよく
- ・観る阿呆から踊る阿呆

<MULU>

- ・メーリングリストによるオンラインの交流
 - ・毎月一度の茶話会
 - ※勉強する月
 - 花見・芋煮会・暑気払い・忘新年会
 - などなど色々やる
 - ・30歳以下の青年部
 - ・地区の図書館関係のイベントの運営や手伝い
- ※詳しくは <http://mulu.g.hatena.ne.jp/>

地区ブロック
主催が居ない

■ ■ ■

反対

結果は
やることに・・・

良かった

※貝森義仁さん

との出会い



NHK NEWSWEB 2012年(平成24年)10月22日[月曜日]

トップページ > 文化・エンタメニュース一覧 > 書評を競う「ビブリオバトル」

ニュース詳細

☆ 書評を競う「ビブリオバトル」
10月21日 20時42分

大学生らが自分が読んだ本の魅力を紹介して、どれだけ多くの人にその本を読みたいと思わせるかを競う全国大会が東京で開かれ、出場した大学生たちがユニークな表現や自分なりの言葉を駆使して会場を沸かせました。

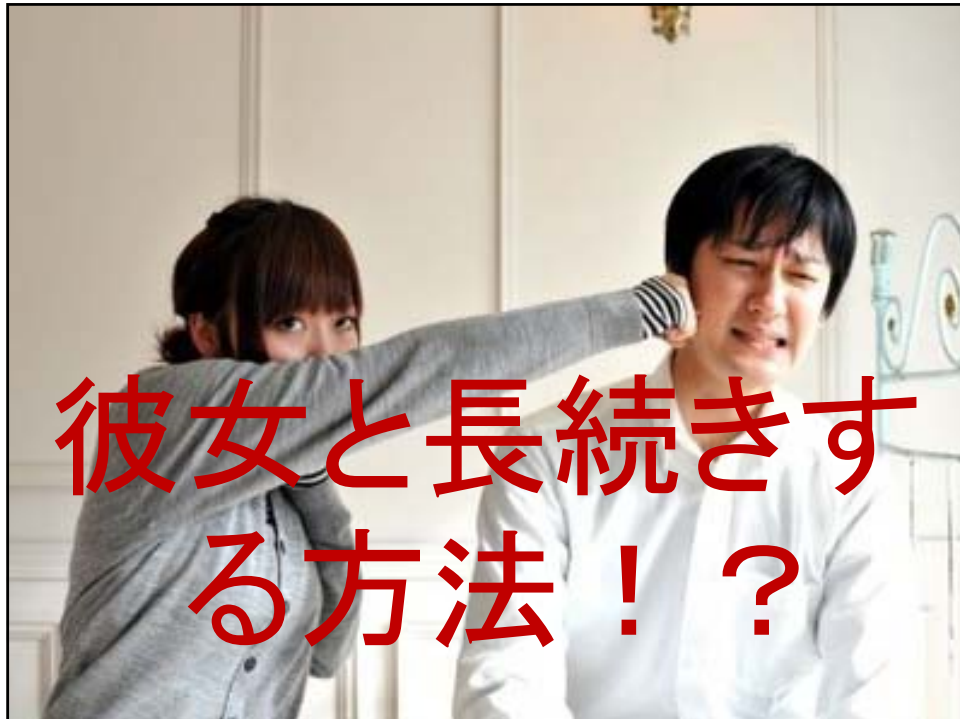
この大会は、書物を意味する外国語から「ビブリオバトル」と名付けられていて、相手に納得してもらったり、理解してもらったりするための表現力とプレゼンテーション能力を養ってもらおうと東京都などが開いています。

こととして8回目となる全国大会には、各地の予選を勝ち上がった大学生や高校生32人が出場し、5分間の制限時間内で自分が読んだ本の魅力を紹介しました。

決勝に進んだ6人のうち、宮城教育大学の具森義仁さんは、子どもとの関わり方を書いた本を取り上げ、「子どもだけでなく、他人との関係を長続きさせる秘けつが書いているので、大切な人にぜひ贈ってほしい一冊です」と紹介しました。

また、上智大学の嵐野直幸さんは、日本の文化が好きだと自己紹介をしつつ、日本人がからこいと感じることを指す「粋」について分析した本を、「やばな人が1日で粋な人になれます」と紹介して観客を沸かせ、優勝しました。

ビブリオバトルの普及を図っている、作家で東京都の猪瀬直樹副知事は、「今の若者は読むだけでなくプレゼンテーションする力をつける必要があり、書評の甲子園のような大会を盛り上げたい」と話していました。



気になりませんか
？

実際を見る

<http://www.youtube.com/watch?v=A9cp1yyVcIk>

<学長賞受賞>



現在、彼は
中学校
国語教員

(兼)
ビブリオバトル
普及委員
東北地区代表

私の人生も
少し変わった

彼の人生は
大幅に
変わった！

ごーまんかまして
よかですか？

図書館員が
学生の人生
を良い方向
に！

(彼からの手紙)

<(2)ビブリオバトルの歴史>

2007年 京都大学情報学研究科共生システム論
研究室(片井研)谷口忠大氏の考案

2010年 ビブリオバトル普及委員会

同年 ビブリオバトル首都決戦(全国大会)2010
開催

※詳しくは

<http://www.bibliobattle.jp/biburiobatoruno-rekishi>

2. いかになビブリオバトル を行うか

<(1)準備>

- ・会場を決める。
- ・バトラーを探す。
- ・広報をして観客を集める。
(バトラーを公募する。)
- ・機材を揃える(規模による)
 - ・書影台
 - ・タイムカウンター
 - ・演台
 - ・マイク
 - ・ホワイトボード(得点集計用)
 - ・プロジェクター&PC

コラム1: 人集め

経験論

東北の人
=
おくゆかしい

毎回
苦勞

本好きの学生
= ×
バトラー

本好きの学生
=
(好)本 > 人

(図書館員も?)

話好きの学生
(本好き)

=

【最高】バトラー

稀有

話好きの学生
(本嫌い)

=

【次点】バトラー

目立ちたがりの学生
(本嫌い)

=

【次点】バトラー

口説き文句

まんがで
良いから・・・

一生のうち、 一冊くらい・・・

<(2)開催>

・司会を決める(居ない場合もあり)。

1. 司会挨拶(趣旨、ルール、レギュレーション説明。)
2. バトラー紹介
3. 順序決め
4. バトル5分+ディスカッション2分×バトラー数
5. 投票
6. チャンプ本決定
7. チャンプ本のバトラー挨拶
8. 閉会

コラム2: 素敵な演出





音楽

<ビブリオバトルの音楽>

- ・パイレーツ・オブ・カリビアン
- ・Battle Without Honor or Humanity
- ・(仁義)

<(3)ビブリオバトル普及委員会>

- ・知的書評合戦ビブリオバトルをより広く普及させる事を目的として活動する任意団体
- ・全国大会予選を運営する場合の連絡調整
- ・(加盟可能)

3. ビブリオバトル

をやってみました

<(1)仙台地区の事例報告>

・首都決戦2012

- ・10/4 宮城地区予選 バトラー5名
於:東北学院大学中央図書館
- ・10/13 宮城福島地区決戦 バトラー4名
於:東北学院大学中央図書館

・みちのく決戦2012

- ・2/17 宮城地区予選 バトラー5名
於:紀伊國屋長町店
- ・3/16 みちのく決戦 バトラー6名
於:丸善仙台店

<(2)宮城教育大学の事例報告>

本学開講授業での実践

- ・「学校図書館メディアの構成」
- ・国語a,c

・学生ビブリオバトルサークル BIBLion結成

- ・2012年12月貝森義仁さん(当時4年)が立ち上げ
- ・部員は現在4年生4人, 3年生5人
- ・毎週木曜日に活動

<(2)宮城教育大学の事例報告>

・附属図書館

- ・8/1 オープンキャンパス
「十代のうちに読んでおきたかった本」
- ・8/8 展示特別企画
「歴史のなかの教科書～高度経済成長期の教育～」記念講演 茶話会
「高度経済成長期に関する本でのビブリオバトル」

<その他の事例報告>

・教職員大会

- ・BIBLionの部員集めを手伝うつもりで開催
- ・むしろ教職員の方が面白い。

・スカイプビブリオバトル

- ・宮城教育大学vs徳島大学

→距離を超えて開催



4. ビブリオバトル の効能

<総合>

- ・「意外な本」だけど「いい本」との出会い
 - ・書籍推薦のフィルタリング
→人を通して本を知る
 - ・本を通じた「人となり」との出会い
 - ・コミュニケーションの活性化
→共通知識があれば会話もはずむ
- 谷口忠大『ビブリオバトル』, 2013, 文藝春秋, pp.134-160

<(1)学生>

- ・プレゼンテーション能力養成
- ・読書量向上
- ・他者理解の深化
- ・世界が広がる
- ・コミュニケーション能力の向上

<(2)大学図書館>

- ・ラーニングコモンズとの親和性
- ・イベント
- ・アクティブ・ラーニングへの導入・活性化
- ・貸出冊数向上
- ・展示・ポップなどの素材提供
- ・(学生との繋がりの強化)

<(3)学生との協働>

- ・イベント企画での協働
- ・展示・ポップ作成での協働
- ・(これまでにあまり無かった、本を介した交流)

とくに

<教員養成大学及び教育学部>

・教師とは教壇に立ち、
生徒に授業をする仕事

→特に教員になる人にとって、
ビブリオバトルはさらに有益に

2011:北教大優勝
2012:宮教大2位

該当する
大学さん

学生への
殺し文句

先生になりた
いんだったら、

やるで
しょ！？

5. 大学図書館が 推進する意義

<大学図書館で行う事の有効性>

- ・読書推進
 - ・利用者を増やすこと
 - ・情報リテラシー教育
 - ・ラーニングコモンズの活性化
 - ・学生との協働促進
- ビブリオバトルにはこれらの要素に有効性がある。

そもそも 図書館とは？

<(1)そもそも図書館とは？>

「収集・整理・保存している資料を利用に供し自己教育を促すことで教育の一形態を担う、人々を覚醒に向かわせる場所。

資料は一覧的に陳列され、利用者は人的サービスを受ける事ができる。」

吉植(2013)

図書館
=
教育の一形態

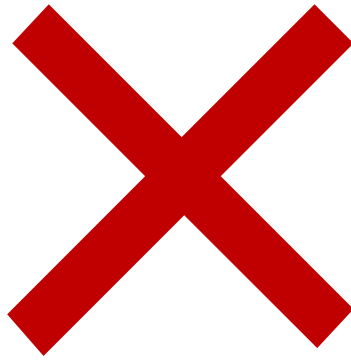
本
=
利用するもの

本

= ×

保存するもの

本は整理して
並べておき、
管理すればいい



図書館員
= X
資産管理者

図書館員
=
教育者

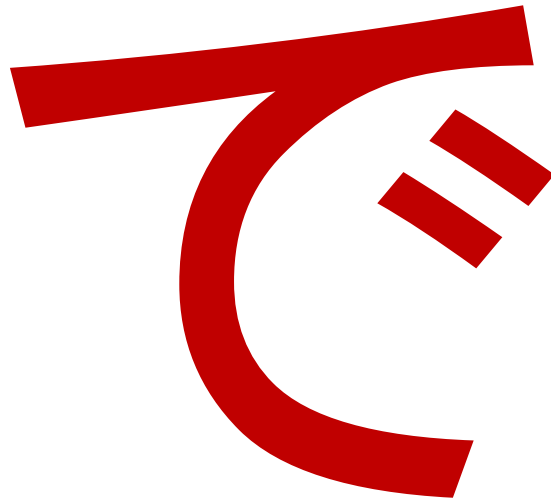
図書館員
=
学生の成長に
もっと寄与していい

不
可

図書館員

=

教員のできない
教育を！

A large, bold red Japanese character 'で' (de) is centered within a black rectangular border. The character has a double underline, consisting of two parallel horizontal lines, positioned below the main body of the character.

ビブリオバトル

=

その手がかりが？

<(2)人を読者にする>

【図書館の機能】

1. 蔵書を守り管理する。
2. 本を使えるようにする。

3. 人々を読者にする。

S.R.ランガナタン 『Reference Service』,1961

<(2)図書館員はセールスマン>

【セールスマンシップ】

セールスマンシップとは、あるサービスとか商品について、それを使う可能性のある人が、それから受ける利益に価値を認め、求められる価格を喜んで支払うようにするため、その商品の長所を説明する熟練した技術」

S.R.ランガナタン 『Reference Service』,1961

図書館員

=

学生を本を読む人
に変える

セールスマン

図書館員は本の
魅力を伝えるのも
仕事

6. おわりに

面白い「仕事」
だから
とにかく、
やってみましょう！

長らくご静聴ありがとうございました。

質問ご意見等は是非下記にお寄せ下さい
吉植 庄栄

宮城教育大学附属図書館学術情報管理係
Tel:022-214-3348
E-mail:syoshiue@staff.miyakyo-u.ac.jp